

令和5年度 第3回 長浜市未来子ども若者会議 会議録【公開用】

日時 令和5年11月24日（金）15時～16時50分

場所 長浜市役所1階 多目的ルーム1～3

出席者 【委員】 西川委員、大橋委員、北村委員、鎌田委員、宇留野委員  
山岡委員、柏崎委員、中川委員、山内委員、宮本委員、澤委員  
小幡委員、荒井委員

【事務局】 未来創造部：中嶋部長  
未来子ども若者局：事務局、山口管理監、為永管理監  
事務局課長代理、服部副参事、事務局  
子ども家庭支援課家庭児童相談室：森室長  
健康推進課：小嵯課長、守本課長代理  
幼児課：今田課長、奥村参事、政策デザイン課：山崎副参事  
市民協働部：藤田次長、教育委員会事務局：東野次長  
Next-i株式会社：松浦氏

欠席者 【委員】 一色委員、水上委員

【事務局】 未来創造部：森次長、子ども家庭支援課：平塚課長

傍聴者 2人

《開会》

【事務局】 みなさん、こんにちは。これより令和5年度第3回になります長浜市未来子ども若者会議を始めさせていただきます。みなさま、お忙しいなかお集まりいただきまして、ありがとうございます。

会議が始まります前に、まず規則によりまして、委員の過半数の出席が必要となります。本日、ご欠席が水上委員、一色委員、そして荒井委員と中川委員からは少し遅れられるとの連絡をいただいております。会議の始まりにあたりましては、委員15名中11名の出席となりまして、過半数出席いただいておりますので、会議が成立しておりますことを、ご報告させていただきます。

また、本会議は公開となっており、おひとり傍聴いただいております、ありがとうございます。途中から入られる場合もございますが、よろしく願いいたします。

それでは開会にあたりまして、長浜市未来創造部長中嶋よりごあいさつ申し上げます。

《開会あいさつ》

～中嶋部長より開会のあいさつ～

みなさん、こんにちは。いよいよ大綱の案も出てきまして、これから計画づくり本格化してまいります。そのなかで、今日はペルソナを使って考えていくというワークショップもご用意しております。我々子どもをまんやかに据えて考えていくにあたりまして、ペル

ソナやデザイン思考という手法はすごくいいと思っております。デザインシンキングで大事なことは、メンバーの多様性と自由な意見交換ができるということです。まさにこの会議、それを実現するのにふさわしいドリームチームでありますので、是非楽しみながらやりたいなと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【事務局】それでは議事に入ってまいります、会議も3回目となりました。どうぞみなさん空気を柔らかく、楽しくやっていきたいと思えます。ご協力よろしくお願いいたします。

そして、今日は若手職員6名も傍聴させていただいております。前回会議でも紹介しましたブラッシュアップ部会で、若手職員と若手の委員のみなさん一緒に考えていこうと申しておりました、若手職員のメンバーになります。よろしくお願いいたします。

そして計画を作るにあたりましてご協力、お力添えいただく業者が決まりましたので、自己紹介いただきます。

【Next-i(株)】全力で計画がいいものとなりますようサポートさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

【事務局】ありがとうございます。分析等お力添えいただくことになっております。どうぞよろしくお願いいたします。

本日の資料です。事前にお送りしました次第、資料1と、本日の配布資料を机に置かせていただいております。ない物がございましたら、お声掛けいただきたいと思えます。

それでは議事の方に入らせていただきます。本日は4時半終了を予定しております。ワーク等あり少し心配しております。それではここから、規則に基づきまして、進行を会長にお願いしたいと思えます。よろしくお願いいたします。

#### 《議事》

【会長】はい、よろしくお願いいたします。最近長浜市はいろいろおもしろいことをやってくさるということで、前はワールドカフェでいろいろ話し合いを行いました。今日はペルソナという手法で、ワークも入っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは議事の方に入らせていただきます。(1)(仮称)長浜市未来こども若者計画とこども大綱について、事務局からご説明をお願いします。

#### ～事務局説明資料1～

【会長】はい、ありがとうございました。かなり時間を気にしていただいて、申し訳ございませんでした。結構大事なものもございませぬ。こども大綱について、これがだいたいの中身ということで、ご説明いただきました。こども若者計画とこども大綱について、ご質問ご意見ございませぬか。

すいませぬ、私から。こども大綱の「第1はじめに」と「第3こども施策に関する重要

事項」を中心にとということで、なぜここをこの会議で丁寧するのか、そこをもう少し教えていただけますか。

【事務局】重要事項もたくさんあるなかで、事務局の方では気づかない目線を大切に考えておきまして、たくさん対象と分野があるなかから、どのようなところを大切にしていくなのかについて、ご意見いただきたいと考えております。

【会長】はい、ありがとうございました。重要事項の10ページ以降は、こども若者計画で多様な遊びや体験・・・というところを、もう少しペルソナを活用しながら、具体的にこういう人物像を書き出して、こういうふうなこどもがいて、こんなことがあるんだけど、どうしていったらいいかということ、もっと絞っていききたいというような意図ということの理解でよろしいでしょうか。

【事務局】はい、そのとおりで結構です。つたない説明で申し訳ありません。

【会長】とんでもないです。他いかがでしょうか。

じゃあ、ペルソナ行きますか。みなさん何をされるのか、ドキドキ不安でしょうが、今日はひとりひとりが主人公ですよ。それでは、次行きますので、そこでまたこども大綱に戻っていただいても結構です。ご質問もお待ちしております。

では、(2)のワークショップ「こどもまんなか社会の主人公を描こう」について、事務局お願いいたします。

～事務局説明資料2～

【会長】はい、ありがとうございました。委員のみなさん、眉間にしわが寄っていますけど、何かありますか。説明のとおりですが。

【委員】ペルソナを描いて、それに合わせて施策を考えていくことは、非常に大切なことだと思いますし、おもしろい取り組みだなと思って聞いていました。私の理解だと、このテーマのこどもまんなか社会の主人公と言われると、こどもかなと思っていたんですが、例に35歳ぐらいの方が出てきていて、ちょっとその辺で混乱したというところがひとつ。あと、こどもまんなか社会で私が考えているのは、どんなこどもをまんなかに置くのかだと思っていました。ペルソナは、特に広告とか販売をする時に、どういうユーザーをターゲットにやっていくのかによく使うイメージで、こどもまんなか社会であれば、これを思い描くことで漏れてしまう人達が気になります。私達のなかでマイノリティの人をどんどん挙げていこうという話なのか、一般的なよくある長浜市の子育て世代を具体的に思い描こうとするのか、今回のワークショップの目標とか目的を確認したくて質問させていただきました。

【会長】はい、ごもっともです。2点いかがでしょう。

【事務局】ありがとうございます。違うところで使った事例を挙げてしまったので、家族になっています。こどもが中心ということで、普段で関わっておられるこどもをまんなかにおいて、このこどもは普段このような生活をしています、こういうこと考えています、そういっ

たところを書いていただければと思います。ただ、お母さんは書いてはいけないのかというと、そうではなく、子育て当事者が今回の属性とキーワードとして国の資料にもあがっておりますので、一番みなさんが関わっておられるところを書いていただきたいと思います。

2点目に付随しますが、みなさんが普段関わっておられるマイノリティの方々理解を深めるために、一般的な方を書いていただくよりは、そのような方を今回書いていただきたいと思っています。一般的な方、ボーダーがあるわけではありませんが、その両面を書いてください。困難なところだけではないことは、先ほど説明させていただいたところですが、子育てに困難を抱えておられる方は、こういう方ですという代表的な例を書いていただくのですが、そのなかでもそうではない面もあるというところで、そういった視点で書いていただけるといいと思います。今回はマイナーな方に焦点を当てたいと思います。

【会長】マイノリティに焦点を当てるということは大事が、マジョリティのなかでもやっぱり大事なところはあると思いますし、私の理解では、委員のみなさまが関わっておられるお仕事のなかで、この方ってどうしようかな、どうしていったらいいのかなと思う方がおられると思います。マジョリティとかマイノリティとか関係なく、困っておられることはあると思うので、そういう方を描き出すってことでいいと思います。もちろんご自身のことを書いていただいてもいいですが、あとで発表ですよ。私のことですって言うのも嫌だと思いますし、そこは濁しながら結構です。具体的に当事者をイメージして施策を作っていくという手法だと思います。今まではぼんやりしたなかで、こういう事どうしようという話だったと思いますが、今日ご参加のみなさんおひとりおひとりが具体的にこの子どうするの、この親どうするのをイメージしていただけるということだと思います。

【委員】ありがとうございます。イメージとしてはおっしゃっていただいたとおりで、共有されたかなと思います。そうすると、どちらかという支援が必要なご家族とか親子さんが、みなさんの頭の中に浮かぶと思いますが、実はそうではないけど、すごく支援を求めている訳ではないですけど、本当はもっとこうだったらうれしいのにといい方々もたくさんいると思うんですね。そうなった時に、今のこのメンバーのなかで、みんなが困りごとを抱えた親子さんをイメージすると、ちょっと偏ってしまうのかなと思います。そうすると、むしろここに出てきたようなそんなに困ってないけど、もっとこうだったらいいのに人もペルソナとして挙げる人がいた方がいいと思って。ただ今回は困ってらっしゃるお子さんをメインに挙げてくださることなのか、もしくは困ってないけど、もっとこうなったらいいのにと思っている人も挙げていいのか、その辺の方向性を挙げてもらえる方が、僕達としても考えやすいのかなと思いました。

【事務局】ありがとうございます。困っておられる方を挙げてもらえるといいと思っています。というのは、今回みなさんにだけではなく、事務局も人物像を作るようになっています。私はそこまで困難を抱えておられる方と触れ合っているわけではないので、職員が作る方は、どちらかといえば一般的な、企画部署が関わるような人が出てくると思いますので、そうではない部分を書いていただければと思います。ただ大切にしたいとみなさんが思って

おられる部分を、無理して困難を抱えておられる方を書いていただく必要もありませんので、困難を抱えていないけど、心のどこかに何かを抱えているような人を書きたいということであれば、もちろんそちらを書いていただければいいと思いますので、よろしく願いします。

【会長】はい、ありがとうございました。いかがでしょう。ご質問というより、それぞれ考えておられますか？これどうしようとか。いいです？

【委員】最終的に委員のみなさん達がこれを書いて、最後合同部会で絞り込んでいくってこととおっしゃっていたかと思いますが、最終的に、どういう絞り込み方をしていくのですか。

【事務局】基本的には国が重要事項として挙げた部分を参考にしていくことになります。ライフステージに応じて、今回みなさんから出していただく部分と前回のワールドカフェで出てきたご意見を、非常に大切にしていきたいと考えています。ライフステージで必ずひとつずつということでもなく、専門の方とも話ししながら、やり取りしながら、絞っていきたいと思っています。

【会長】はい、ありがとうございます。このペルソナの手法は、長浜市は他に何か使っておられますか。

【事務局】総合計画でもデザイン思考で施策を考えていこうということを今回から定めております。田村駅を中心とした南長浜地域の今後の計画を立てるために、今ちょうどその手法で進めています。結構しっかりとしたペルソナを、委員のみなさんと作って行って、もう少し先のところまで進んでいるような感じです。

【会長】駅利用にかかる課題を持っている人や、こうあってほしいという願いが具体的に出てきているという感じですか。

【事務局】田村駅から東側、六荘、神田地域等に住んでいる方が、前回ワールドカフェでお話したような未来はこうなっていてほしいなというようなペルソナを、おじいちゃんおばあちゃんも含めて作っているところです。

【会長】はい、ということです。みなさん、もう目がうつろなんですね。いいですかね、もう。15分ですね。

【事務局】やりながら、わかりにくい、書きづらいことがあれば、お声掛けいただいて、やりとりしながらやっていきましょう。

【会長】そのあと、3分ほど発表の時間も取ります。

【委員】困っている方と普段関わっておられる方は、いろんな事例が浮かびやすいと思うんですけど、例えば子どもを描く時に、今私達がこの会議で求められていることは、ちょっと困った事例を挙げて、こんな人達がいるんだなと市の方が知りたいということで挙げていくべきなのか、それとも、今の子ども達って、何に興味があって、どういうことを思っている、こんな感じです…みたいなのところを書いてくださいと言われると、書きやすいですが、ある程度絞られてしまうと、悩んでしまうところがあります。そういう書き方でもいいのか、ちょっとずれてしまっているのか、どうなのでしょう。

【会長】個人的には絞らなくていいと思います。困っていること、あるいはもっとこうであれば豊かになれるよね、趣味がかなり特定のもの、いろんなこどもがいるので、いいのではないかなと。ただ委員のお立場上、いろんな立場をお持ちの方が多いですので、そのような方はというお話だったと思います。ホントに自由に作っていただければいいと思います。多様なこどもの存在みたいなことが、ここで描かれればいいので、委員がおっしゃったこと、大事だと思います。

【事務局】会長がおっしゃるように、正解はありません。ただこれだけ多様化すると、同じということもないと思っておりますので、そのあたりは自由に書いていただければと結構です。

【会長】要するに何でもありということですね。みなさん。では始めましょうか。事務局の方で、そろそろとかお声掛けいただきたいと思います。

【事務局】わからない時にはお声掛けいただいたり、お隣の方と相談していただいたりでも結構です。ちょっとリラックスしてお茶飲みたいということであればおっしゃってください。

～ワークショップ 15分～

【会長】時間が来たようです。いかがでしょうか、書けましたでしょうか。では、どのように設定されたか、人となりや理想を順に発表してください。ひとり3分ぐらいですね。

【委員】42歳の女性、萌子さん。しょうがいがあり、不登校のこどもがいて、フリースクールの費用負担が家計を圧迫している。

【委員】17歳、こころちゃん。県外進学や就職を夢見る女の子。充実した毎日を見せたい。

【委員】高校2年生、さやさん。大学進学を目指すも、高校の授業だけでは不十分に感じている。ゆくゆくはこどもがほしいが不安も感じている。

【委員】三世帯同居の3歳男の子。お母さんは怒ると怒鳴ることもあるけど、お母さんのことが大好き。

【委員】小学6年生のはなちゃん。友達と遊ぶことが一番楽しい。市街地から離れているので、親の送迎がないと行きたいとことにいけない。

【委員】小学2年生、兄弟がいない男の子。ゲームやYouTubeが大好き。責任感が強く、負けず嫌い。自分の気持ちを伝えることが苦手。

【委員】25歳男性のだいきさん。市外の大学に進学、卒業後は市内の企業に就職。そこそこ楽しいが、熱中する何かがほしい。

【委員】28歳はるこさん。夫のDVにより離婚したシングルマザー。都市部から移住したため友人は少ない。こどもが個性的で、将来の教育の選択肢について不安。

【委員】大学生の朝子さん。とても家族思いで、高校時代から家族の介護を担う。自分の夢より家族が大事。資格は取得するが、介護のため正社員にはならない。

【委員】36歳びわ子さん。パートで働きながら、一生懸命に子育て中。時々タイライラが爆発して、こどもに当たってしまう。

【委員】3歳男の子、ひーくん。今年度こども園に入学。とにかく機械が大好き。初めてのことは不安だけど、慣れたら楽しくなるよ。

【委員】35歳女性猫村さん。自然が好き。長浜が好き。核家族で2人のこどもの子育て中。親に頼れないので、仕事と家庭の両立が大変。ひとりで旅に出たいと時に思う。

【委員】65歳男性よしおさん。定年退職後、自治会長拝命中。子育て世帯の思いを大切にしたい自治会運営してみたいが、子育てにあまり関わってこなかったのが、関わり方がわからない。

【会長】みなさん具体的ですごいですね、ありがとうございます。このあと意見交換ですが、軽く時間越えていますので、どうしましょうか。

【事務局】みなさんのご都合のつく範囲で結構です。

【会長】いかがですか、みなさん。感想とか。

【委員】いろんな計画やプラン、サービスがあるなかで、課題をひとつひとつ分けて考えがちでしたが、今日ペルソナを考えたことによって、ひとりの人が複数の困りごとや課題を持っていることや、逆に複数の強みを持っていることを、改めて感じることができました。ひとつひとつ切ったような支援ではなく、全部ひっくるめて関わられるような、計画にする時には非常に難しい考え方になりますが、そのようなことが改めて大事だとわかりまして、大変勉強になりました。

【会長】ありがとうございます。他いかがですか。今までいろんなことをしゃべってきましたけど、それぞれペルソナ、人物がある程度具体的に出てきたのは、今日ひとつよかったですと思います。そういう人達がリアルにおられるということが前提となって、じゃあどうしていくのか。しなきゃいけないからするのではなく、こういう人達のために何ができるかという発想に返っていく会議にならなきゃいけないなと感じました。勉強になりました。ありがとうございます。

【委員】今日はペルソナというところで、いろんな人に、どのようなサポートが必要なのかを考えるいい機会になりました。今後ですが、具体的にどんなことをというところを、今日話し合う予定だったことができなさそうですけど、委員のみなさんを含めて、こういう人がいて、こんなことをしたらいいのではないかというアイデアをお持ちだと思います。そこを共有できずに終わってしまうのが、だいぶんもったいないなと思っておりまして、どうされるのかという質問です。

【会長】ありがとうございます。今日はここまでだというふうに思っておりました。こうして出たものをブラッシュアップ部会でもう少し掘り下げて、そしてまた会議にフィードバックしていただいとということです。なので、今日ここで話し合うってことは無理だろうなと思っておりました。今日はこれがすべての目的であるという感じです。会議にフィードバ

ックしていただいた時には、是非また意見を聞かせていただければと思います。そのあたりは、事務局よろしくをお願いします。

【事務局】今ほど会長から説明があったとおりでございます。このあとみなさまの下書きシートを集めまして、若手職員と部会で人物像のシートをもう少し詳しく整理いたします。それをみなさんにお返しさせていただきますので、特に共感を持たれた方や、この方のこともう少し話したいというところから順番に、会議の中で意見交換をして、この方に必要なものは何なんだろう、この方が大切にすべきことは何なんだろうというところを、人中心で考えていければと思います。事前に資料のやり取りさせていただきますが、よろしくをお願いします。

【会長】1点、議事録はどのように公開されますか。

【事務局】一定こちらでまとめさせていただきます、公表前にはみなさんにお返しさせていただきます。ご意見をお返しいただき、必要な修正をしたうえで、公表の方、進めていきたいと思えます。

【会長】ペルソナのあたり、そんなに詳細まで公表しなくてはいけませんか。

【事務局】いや、要点録です。

【会長】要点録。ペルソナは要点を公表いただいた方がいいと思えます。

【事務局】承知いたしました。

【会長】よろしくをお願いします。それでは、時間も迫っているところか、軽く過ぎておしまして、申し訳ありませんでした。本日の議事は、これで終了したいと思います。では事務局にお返しいたします。

《閉会》

【事務局】委員のみなさん、どうもありがとうございました。長時間にわたり、貴重な思いをありがとうございます。また、私達チャレンジということで、このようなやり方をさせていただいておりますが、人を中心とした具体的な姿を描いていただき、ありがたく思っております。

次回に向けて準備を進めていきますが、もっとこうした方がいいのではないかと、こうするといふよということがありましたら、是非お声掛けいただければとありがたいと思えます。

それでは時間過ぎてしまって申し訳ありません。令和5年度第3回の会議を閉じます。本日はどうもありがとうございました。お気をつけて、お帰りください。